

日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.96)(2026.4.6)

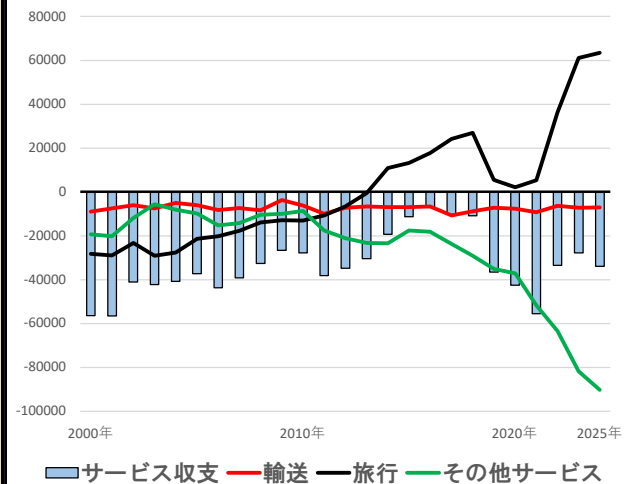
《日本経済》

日本政策総研代表取締役社長
宮脇 淳

日本サービス収支は赤字（2025年）

財務省「国際収支統計」による2025年のサービス収支は、全体で2025年3.4兆円赤字となった。内訳を見ると、「旅行収支」は6.3兆円の黒字である。コロナ・パンデミック期を除き、インバウンドの増加が黒字化に貢献している。これに対して、知的財産権等「その他サービス収支」は、-9兆円と赤字幅を拡大させている。航空機や船舶による「輸送収支」は、従来1兆円から6000億円の赤字で25年も7100億円の赤字である。

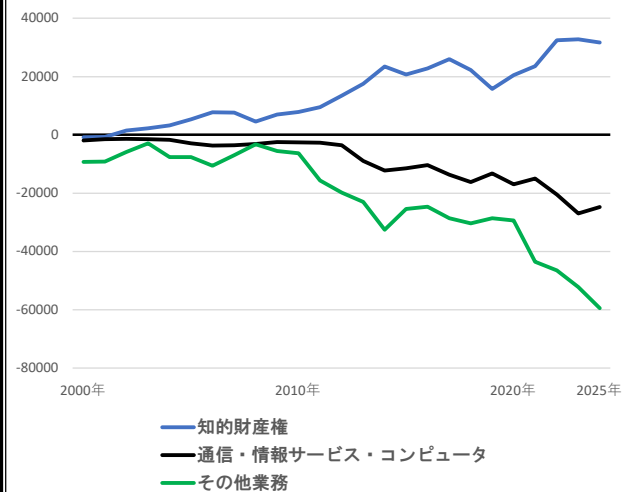
日本のサービス収支(億円)



日本「その他サービス収支」大幅赤字（2025年）

すでに見たように日本のサービス収支のうち「その他サービス」は、2025年9兆円の赤字となった。要因は、「通信・情報サービス・コンピュータ」2.5兆円赤字、専門・コンサル、著作権使用料等「その他業務」6兆円赤字にある。経済のデジタル化やソフト化が、日本のサービス収支に影響を与えている。これに対して、工業所有権等知的財産権収支は、同3.2兆円の黒字である。製造業を中心とするサービス使用料は、堅調に推移している。

日本の知的財産権等収支(億円)



日本東証株平均加重利回り横ばい（2026.3）

東証「株平均加重利回り」は、2026年3月でプライム市場1.91%、スタンダード市場2.05%となった。両者ともに、年明け以降ほぼ横ばいの動きである。25年を通じた東証株価の上昇は、株平均加重利回りを低下させている。年明け以降の株価停滞を受けて、利回り低下に歯止めがかかっている。株の利回りは、長期プライムレートとの関係で適正水準を判断する。長期プライムレートは3%弱であり、1%ポイント弱の差が足元生じている。

東証株平均加重利回り(%)

